

宇都宮の環境（環境状況報告書 平成 29 年度版）について

1 環境状況報告書 平成 29 年度版（以下「報告書」という。）について

宇都宮市環境基本条例に基づき、環境基本計画に掲げる計画の基本理念や目指す環境都市像の実現に向けた取組の実施状況や指標の進捗状況等について点検を行い、毎年度の状況を報告書として取りまとめ公表するもの

【参考】宇都宮市環境基本条例（抄）

第 19 条 市長は、毎年度、環境の状況並びに環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を明らかにした報告書を作成し、公表する。

2 報告書の内容及び進捗状況の確認方法等について

(1) 報告書の内容について

報告書には、第 3 次環境基本計画（計画期間：平成 28 年度～平成 37 年度）の計画期間初年度（平成 28 年度）における計画の指標進捗状況や各施策の実施状況を記載するほか、本市の環境に関する統計情報等を資料として掲載する。

(2) 進捗状況の確認方法等について

進捗確認については、計画全体及び個別の施策それぞれに対し行う。

ア 計画全体の確認方法

計画全体の進捗確認については、重点戦略に掲げた事業の取組状況（注 1）及び成果指標の進捗によって確認する。

イ 個別の施策の確認方法

個別の施策の進捗確認については、各環境分野における基本施策の体系別に行うものとし、事業の取組状況（注 1）及び各指標の評価（注 2）によって確認する。

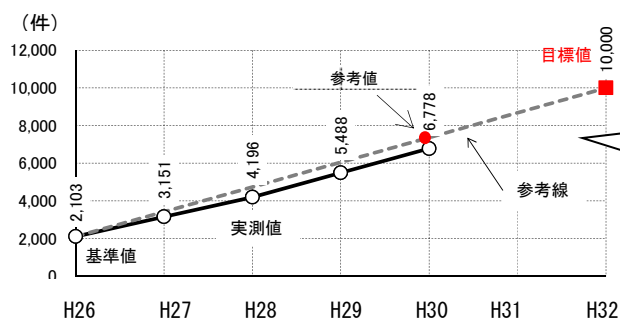
注 1 事業の取組状況の確認方法

本計画からの新規事業及び取組を拡大した事業の取組状況を中心に確認する。

注 2 指標の評価方法

指標の評価方法は、それぞれ目標として設定している年次・指標に対し、基準値から目標までを直線で結び、各年度の参考値※1を設定し、その参考値に対しての達成率※2により進捗状況を確認する。

※1 「参考値」のイメージ



基準値から目標値までを直線で結び、目標達成に向けた進捗度合いの目安とする。

- ※2 参考値に対する達成率の評価は、宇都宮市行政評価の評価基準に基づき以下のとおり設定
 参考値に対する進捗状況が
 90%以上：A 70%以上：B 70%未満及び基準値未満：C

3 計画の進捗状況について

- (1) 計画全体の進捗状況について※**別冊** 及び**別紙1** 参照

ア 重点戦略の状況について

環境都市実現に向け、本市の地域資源や特性を十分に生かした、新規・拡充事業の全てにおいて、具体的な事業の実施又は検討に着手している。

ひと

【重点戦略1】 「もったいない」の心で行動する人づくり

活動の充実を図る環境学習の推進として、中高生向け出前講座の内容を充実
 など

【重点戦略2】 エコで便利なライフスタイルを生み出す行動促進

「自立分散型エネルギー」によるエコな住環境形成の促進として、新たな補助事業を開始
 など

まち

【重点戦略3】 自然と調和したコンパクトな地域づくり

生き物と共に生きる環境保全の推進として、外来種に関する周知啓発を実施
 など

【重点戦略4】 グリーンな交通システムの構築

自動車による環境負荷の低減策の促進として、蓄電機能を生かした電気自動車等の普及啓発を実施
 など

しくみ

【重点戦略5】 環境と経済の連携による地域の環境資源を活かした産業や取組の創出

環境技術を活用した産業創出に向けた取組の推進として、LRT 沿線の低炭素化の在り方について検討するほか、大谷地域の賦存する冷熱エネルギーを活かした実証実験を実施
 など

【重点戦略6】 社会全体を先導する市の率先行動

環境に配慮した実践行動の推進として、「もったいない残しま10!」の取組を実施
 など

イ 成果指標の状況について

各指標いずれも基準から後退又は横ばいの状況

ウ 総括

- ・ 重点戦略については、順調に取り組みが進んでいるものの、成果指標の数値は後退又は横ばいという状況。
- ・ 要因としては、重点戦略に掲げられた取り組みの効果が指標に反映されるまでに時間差があり、今後、前述の取組による削減効果が具体的に表れてくるものと考えられる。
引き続き市民、事業者（行政含む）への意識啓発を強化しながら、本計画の取組を推進するとともに、地球温暖化対策実行計画や一般廃棄物処理基本計画などの関連する個別計画と連携しながら具体的な取り組みを着実に進めていく。

(2) 個別の施策の進捗状況について ※ **別冊** 及び **別紙2** 参照

ア 事業の取組状況

各環境分野において新規事業への着手を含め、重点戦略に計上した以外の事業にも着実に取り組んでいる。

- ・ 市民生活に密接に関係する「廃棄物」、「生活環境」分野においては着実に取り組みが進められている。
- ・ 持続可能なまちづくりに関係する「地球環境」、「自然環境」、「人づくり」分野においては、現時点における課題解決を図るための啓発事業や補助事業が展開されているほか、将来を見据えた長期的な取り組みとして、エネルギー関連の調査研究や実証などの取組に着手している。

イ 指標の状況（全38指標）

評価A：29 評価B：3 評価C：6

ウ 総括

各分野において新規事業に着手しているほか、計38の指標の8割以上が「A」、「B」となっており、計画初年度の状況として着実に進捗している。但し、指標上、進捗が遅れているものについては、状況の分析を詳細に行いながら、目標達成に向けての具体的な方策を検討する必要がある。

4 宇都宮の環境 環境状況報告書(案)について

別冊のとおり

5 今後のスケジュール

平成30年1月24日（水） 環境審議会

下旬

本市ホームページ等で状況報告書を公開